**参考様式例**

**介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント**

**利用契約書**

**重要事項説明書**

**個人情報使用同意書**

・　本契約様式は，あくまでも参考様式例となりますので，文面内容は

　施設や法人の判断により，適宜修正してください。

・　本契約様式は，居宅介護支援事業所が，介護予防支援業務に関する

　指定介護予防支援事業者として指定を受け，業務を行うことを想定し

　て作成しています。

**○○居宅介護支援事業所**

**○○地域包括支援センター**

**介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント利用契約書**

　サービス利用者（以下「利用者」という。），〇〇居宅介護支援事業所（以下「事業所」という。）及び○○地域包括支援センター（以下「センター」という。）は，利用者が要介護状態となることを予防し，可能な限り居宅において自立した日常生活を営み続けることを目的として，事業所又はセンターが利用者に対して行う介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントについて，次のとおり契約を締結します。

**第１条（介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの内容）**

　　事業所及びセンターは，利用者がその目的を達成するために必要な介護予防サービス等（以下「サービス」という。）を利用者自身の選択に基づき適切に利用できるよう，介護保険法等の関係法令及びこの契約書に従い，介護予防サービス・支援計画書を作成します。また，事業所及びセンターは，介護予防サービス・支援計画書に基づいて適切なサービスの提供が確保されるよう，サービスを提供する事業所（以下「サービス事業所」という。）及び関係機関等との連絡調整その他の便宜を提供します。

**第２条（契約の有効期間）**

　　この契約の有効期間は，令和　　年　　月　　日から１年間とします。ただし，契約の有効期間満了日の３０日前までに利用者からの意思表示がない場合には，この契約はその満了日から１年間自動で更新されるものとし，以後も同様とします。

**第３条（介護予防サービス・支援計画書の作成）**

１　利用者が介護予防支援を利用する場合であって，かつ，事業所が指定介護予防支援事業者として指定を受けている場合は，事業所が介護予防サービス・支援計画書を作成します。

２　利用者が介護予防ケアマネジメントを利用する場合は，センターが介護予防サービス・支援計画書を作成します。この場合において，センターは，利用者の同意を得た上で，事業所に介護予防サービス・支援計画書の作成を委託することができます。

３　利用者が介護予防支援から介護予防ケアマネジメントに移行する場合，又は，介護予防ケアマネジメントから介護予防支援に移行する場合においては，事業所とセンターは密に連絡を取り合い，利用者が遺漏なく円滑にサービスを利用することができるよう努めます。

４　介護予防サービス・支援計画書を作成する事業所又はセンターは，その職員の中から介護予防支援又は介護予防ケアマネジメントの担当者を選任し，適切な介護予防支援又は介護予防ケアマネジメントの実施に努めます。

５　介護予防サービス・支援計画書を作成する事業所又はセンターは，その作成にあたり，次の各号に定める業務を行います。

　(1) 利用者の居宅を訪問し，利用者及び家族に面接して情報を収集し，

　　解決すべき課題を把握します。

　(2) 利用者の居宅のある地域におけるサービス事業所等のサービスの内容及び利用料に関する情報を利用者及び家族に適正に提供します。

　(3) 提供されるサービスの目標，その達成時期，サービス提供上の留意点等を明記した介護予防サービス・支援計画書原案を作成します。

　(4) 前号で作成した介護予防サービス・支援計画書原案について，保険給付及び介護予防・生活支援サービス事業の該当の有無を区分し，サービスの種類，内容等を明記して利用者及び家族に説明し，利用者から同意を受けて介護予防サービス・支援計画書を完成します。

**第４条（介護予防サービス・支援計画書作成後の便宜の供与）**

　　介護予防サービス・支援計画書を作成した事業所又はセンターは，次の各号に定める事項を遵守します。

　(1) 介護予防サービス・支援計画書に定めたサービスの実施状況の把握を行い，介護予防サービス・支援計画書の変更，サービス事業所等との連絡調整その他の便宜の供与を行います。

　(2) 介護予防サービス・支援計画書に位置づけた支援の期間が終了するときは，介護予防サービス・支援計画書の達成状況について評価します。

　(3) 利用者の意向を踏まえ，要介護認定申請等必要な援助を行います。

**第５条（記録の整備）**

　(1) 介護予防サービス・支援計画書を作成した事業所又はセンターは，利用者に対する介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの実施についての記録を作成し，その完結の日から５年間保管します。

　(2) 介護予防サービス・支援計画書を作成した事業所又はセンターは，前号の記録を整備し，利用者からの求めに応じて閲覧に供し，又は実費負担によりその写しを交付します。

**第６条（事故時の対応）**

　　介護予防サービス・支援計画書を作成した事業所又はセンターは，介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの提供にあたって事故が発生した場合には，利用者の家族及び裾野市の関係窓口に連絡を行うとともに，必要な措置を行います。

**第７条（相談・苦情対応）**

　　介護予防サービス・支援計画書を作成した事業所又はセンターは，利用者からの相談，苦情等に対応する窓口を設置し，その窓口を利用者に明示するとともに，介護予防サービス・支援計画書に位置づけた介護予防サービス等に関する利用者の要望，苦情等に対し，迅速かつ丁寧に対応します。

**第８条（秘密保持）**

　　介護予防サービス・支援計画書を作成した事業所又はセンターは，介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントを提供する上で知り得た利用者及び家族に関する個人情報及びその秘密については，法令に基づく場合，この契約に別段の定めがある場合，又は利用者から事前の承諾を得た場合を除き，第三者に開示し，または漏らすことはありません。

**第９条（利用者の解約）**

　(1) 利用者は，解約を希望する３０日前までに事業所又はセンターに予　告することにより，いつでもこの契約の解約を申し入れることができ　ます。

　(2) 利用者は，事業所又はセンターが第１条，第３条及び第４条に定められた介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントを提供しなかった場合，その他この契約に違反した場合には，直ちにこの契約を解除することができます。

**第１０条（事業者の解除）**

　　事業所又はセンターは，利用者の著しい不信行為により介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの提供を継続することが困難となった場合には，その理由を記載した文書を交付することにより，この契約を解除することができます。

**第１１条（契約の終了）**

１　次の各号のいずれかに該当する場合には，前各条項の規定にかかわらず，この契約は終了するものとします。

　(1) 利用者が介護保険施設等に入所した場合

　(2) 利用者の要介護認定区分が，要介護又は非該当（自立）と認定された場合

　(3) 利用者が死亡した場合

**第１２条（契約外の事項）**

　　この契約，介護保険法等の関係法令で定められていない事項について

　は，関係法令等の趣旨を尊重して，利用者，事業所及びセンターの協議

　により定めます。

　上記のとおり，介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント利用契約を締結します。

なお，本契約の締結を証するため，本書３通を作成し，当事者が記名押印の上，各自１通を保有することとします。

　　　　　　年　　月　　日

　　　利用者　　　住所

　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　上記代理人（代理人を選任した場合）

　　　　　　　　　住所

　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　事業所　　　所在地

　　　　　　　　　事業者名

　　　　　　　　　代表者名　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　　担当者

　　　センター　　所在地

　　　　　　　　　事業者名

　　　　　　　　　代表者名　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　　担当者

**介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント重要事項説明書**

１　事業所の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所名 |  |
| 所在地 |  |
| 事業所指定番号 |  |
| 管理者 |  |
| 連絡先 |  |
| サービス提供地域 |  |

２　事業所の職員体制等

|  |  |
| --- | --- |
| 職種 | 人員 |
| 管理者 | 名 |
| 保健師等 | 名 |
| 主任介護支援専門員等 | 名 |
| 社会福祉士等 | 名 |

３　サービス提供時間

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 平日 | 土曜日 | 休祭日 |
| 提供時間 |  |  |  |

（注）年末年始（12/31～1/3）は「休祭日」の扱いとなります。

４　利用者負担金

　(1) 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントについては，原則とし

　　て利用者の負担はありません。

　(2) 事業所の担当地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合に

　　は，その交通費（実費）の支払いが必要となります。

５　相談窓口，苦情対応

　(1) サービスに関する相談や苦情については，次の窓口にご連絡願いま

　　す。

　【○○居宅介護支援事業所】

　　電話番号

　　受付時間

　【当法人お客様相談コーナー】

　　電話番号

　　受付時間

　【○○地域包括支援センター】

　　電話番号

　　受付時間

　(2) 介護保険制度や介護予防・生活支援サービスについて

　【裾野市役所介護保険課】

　　電話番号　０５５－９９５－１８２１

　(3) 介護保険サービス全般の苦情について

　【静岡県国民健康保険団体連合会介護保険課】

　　電話番号　０５４－２５３－５５９０

【説明確認欄】

　　　　　　年　　月　　日

　介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントにかかる契約の締結にあたり，上記のとおり重要事項を説明しました。

　　　事業所　　　事業者名

　　　　　　　　　（指定登録番号）

　　　　　　　　　説明者　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントに係る契約の締結にあたり，上記のとおり説明を受けました。

　　　利用者　　　氏名 印

　　　代理人又は立会人

　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

**介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント重要事項説明書**

１　センターの概要

|  |  |
| --- | --- |
| センター名 |  |
| 所在地 |  |
| 事業所指定番号 |  |
| 管理者 |  |
| 連絡先 |  |
| サービス提供地域 |  |

２　センターの職員体制等

|  |  |
| --- | --- |
| 職種 | 人員 |
| 管理者 | 名 |
| 保健師等 | 名 |
| 主任介護支援専門員等 | 名 |
| 社会福祉士等 | 名 |

３　サービス提供時間

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 平日 | 土曜日 | 休祭日 |
| 提供時間 |  |  |  |

（注）年末年始（12/31～1/3）は「休祭日」の扱いとなります。

４　利用者負担金

　(1) 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントについては，原則とし

　　て利用者の負担はありません。

　(2) センターの担当地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合

　　には，その交通費（実費）の支払いが必要となります。

５　相談窓口，苦情対応

　(1) サービスに関する相談や苦情については，次の窓口にご連絡願いま

　　す。

　【○○地域包括支援センター】

　　電話番号

　　受付時間

　【当法人お客様相談コーナー】

　　電話番号

　　受付時間

　【○○居宅介護支援事業所】

　　電話番号

　　受付時間

　(2) 介護保険制度や介護予防・生活支援サービスについて

　【裾野市役所介護保険課】

　　電話番号　０５５－９９５－１８２１

　(3) 介護保険サービス全般の苦情について

　【静岡県国民健康保険団体連合会介護保険課】

　　電話番号　０５４－２５３－５５９０

【説明確認欄】

　　　　　　年　　月　　日

　介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントにかかる契約の締結にあたり，上記のとおり重要事項を説明しました。

　　　センター　　センター名

　　　　　　　　　（指定登録番号）

　　　　　　　　　説明者　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントに係る契約の締結にあたり，上記のとおり説明を受けました。

　　　利用者　　　氏名 印

　　　代理人又は立会人

　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

**介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント契約における**

**個人情報使用同意書**

　私及びその家族の個人情報については，次に記載するところにより必要の範囲内で使用することに同意します。

記

１　使用する目的

　(1) 利用者のための介護予防サービス・支援計画書の作成（変更）及び

　　これに沿った円滑なサービス提供のために実施されるサービス担当者

　　会議，担当職員や事業者及び関係機関との連絡調整等（要介護認定の

　　申請に係り当該申請を受付けた関係機関からの依頼による情報提供を

　　含む。）において必要な場合

　(2) 裾野市（保険者）が，介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの

　　質の向上を目的として医師その他の専門職を交えて検討を行う場合

２　使用にあたっての条件

　(1) 個人情報の提供は，１に記載する目的の範囲内で必要最低限に留め，

　　情報提供の際には，関係者以外には決して漏れることのないよう細心

　　の注意を払うこと。

　(2) 心身状態の増悪など緊急を要すると判断した場合は，必要最低限の

　　個人情報を上記以外の者に提供することがあります。その場合は，相

　　手方に対して，関係者以外の者に漏れることのないよう厳重に注意を

　　促すとともに，速やかに利用者に対して報告すること。

　(3) 事業者は，個人情報を使用した会議，相手方，内容について記録し

　　ておくこと。

　　　　　　年　　月　　日

　　　利用者　　　住所

　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　上記代理人（代理人を選任した場合）

　　　　　　　　　住所

　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　利用者家族代表

　　　　　　　　　住所

　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印